

プロピコナゾール乳剤 チルト乳剤25	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ
成分： プロピコナゾール〔エルゴステロール生合成阻害剤 PRTR・1種〕…25.0% その他 PRTR 該当成分： ナフタレン〔PRTR・1種〕……………3%	性状： 黄赤色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- 浸透移行性を有し、茎葉部から速やかに植物体にとり込まれ高い防除効果を発揮する。
- 菌糸生育阻止、病斑形成阻止、胞子形成阻止などの作用が強く、予防・治療効果に優れる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 眼紋病に対して2000倍で使用する場合は、節間伸長期頃に2回散布する。
- 連続使用により薬剤耐性菌が出現するおそれがあるので、連用をさけ作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 通常散布の場合、野菜（特に幼苗期）にかかると、生育抑制や縮葉などの薬害を生じるおそれがあるので、野菜にはかからないよう十分注意して散布する。
- 無人ヘリ散布の場合、次の点に注意する。
 - 小麦に使用する場合、高温条件下では、葉に薬害（ネクロシス）を生じるおそれがあるので、高温時の散布をさける。
- 小麦に対して希釈倍数150～500倍（使用液量10 a 当り25ℓ）で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。
- 適用外作物（野菜類）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 危険物第4類第2石油類に属するので、火気には十分注意する。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。



【適用と使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	プロビコナゾールを含 む農薬の総使用回数
小 麦	赤さび病	1000～3000 倍	60～150 ℓ	3 日前 まで		散布	5 回以内 (根雪前は 2 回以内、 春期以降は 3 回以内)
		250～500 倍	25 ℓ				
	うどんこ病	2000～3000 倍	60～150 ℓ				
	赤かび病	8 倍	800 ml	7 日前 まで	3 回 以内	無人航空機 による散布	
		眼紋病 黒変病	1000～2000 倍	60～150 ℓ	3 日前 まで		
	紅色雪腐病		750～1000 倍				
	雪腐小粒菌核病	8 倍	800 ml	根雪前	2 回 以内	無人航空機に よる散布	
		150 倍	25 ℓ				
	黄斑病 葉枯症	1000 倍	60～150 ℓ	3 日前 まで	3 回 以内	散布	
	なまぐさ黒穂病	8 倍	800 ml	根雪前	2 回 以内	無人航空機 による散布	
		750 倍					
大 麦	雲形病 網斑病	1000 倍	60～150 ℓ	21 日前 まで	1 回	散布	1 回
	うどんこ病	2000～3000 倍					
		1000～2000 倍					
	赤かび病	8 倍	800 ml			無人航空機 による散布	
とうもろこし		1000 倍	100～300 ℓ	7 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
飼 料 用 とうもろこし	すす紋病	8 倍	800 ml			無人航空機 による散布	
		16 倍	1600 ml				
き く	白さび病	3000 倍	100～300 ℓ	発病初期	3 回 以内	散布	3 回以内